

## 10月「連合奈良の日」街宣行動

### 最低賃金引き上げの周知街宣行 28円引き上げで866円に

10月連合奈良の街宣行動を、近鉄大和八木駅で行いました。当初連合奈良からの参加も予定していましたが、急遽、衆議院議員選挙の対応が重なり来月の行動に参加することとなりました。

当日は、10月から改訂された奈良県地域別最低賃金が28円引き上げの866円に引き上げられたことの周知街宣をおこないました。

最低賃金は、その金額以下では人を雇用できず、雇用形態に関わらず適用されるもので、その最低賃金を守らない場合は、雇用主に罰則が適用されます。



隣の大阪府の最低賃金は992円で、奈良県とは126円もの差があります。奈良県での人材確保や雇用拡大のためにも、大阪府との『差』を無くしていくことが今後の課題となります。最低賃金の改定に連合は、中央・地方で審議会等に委員を送り出し、各委員の奮闘により、最低賃金の引き上げに寄与しています。

また、最低賃金を守らない経営者も横行しており、労働組合の立場からもそうした行為の一掃に向け取り組み強化が必要となっています。

参加者：地協幹事等18人、森山県議、上田橿原市議、今井橿原市議、松浦宇陀市議、上田宇陀市議 合計23人

## 衆議院議員総選挙

### 10月19日公示31日投開票で実施 棄権することなく必ず投票を！！

政権選択のための衆議院議員総選挙が10月19日公示・31日投開票の日程で行われます。

我が国は、株価上昇や失業率の低下等一部の経済指標が注目されて、日本が豊かに良くなっているように言われています。しかし実態は、実質賃金は30年間下がりっぱなし、労働者派遣法の改正以来正規雇用者は激減し、非正規雇用者が労働者全体の4割にまで増大し、止まることなく拡大し続けています。

社会指標では、自己肯定感や、子どもの幸福度、家族への満足度など、飛び抜けて悪い数字であり、『幸福が実感できる国』からは程遠い状況にあります。

国民生活を度外視した政治と相まって、コロナ禍が直撃し、貧困の増大と格差拡大が進行し、『一億総不安』社会となっています。国民生活をより豊かにするため政権交代が不可欠となっています。『たかが一票、されど一票』棄権することなく、必ず投票し政権交代を実現しましょう。

連合奈良は、1区選挙区で馬淵澄夫、2区選挙区で猪奥美里の推薦を決定しました。二人の推薦候補の当選と、政権交代に向け取り組みましょう。

